

# みんなであゆみ

只今後援会会員  
339名  
(目標1000名)

あゆみ後援会総会開催 5月19日参加30名

## NPO元年一後援会の役割一

この1年は、あゆみ共同保育園とあゆみ学童クラブはその運営母体「特定非営利活動法人あゆみ会」として法人格を取得して初めての通年になると同時に昨年4月「おひさま」児童デイサービス事業を開始して1周年を迎えます。

この1年を振り返っても実にいろいろなことがありました。昨年7月から、大家さんのご厚意により格安であゆみ共同保育園があるビルの2階の1部（旧宗教団体使用のホール）を借り上げて整備し、「おひさま」児童デイサービス事業の拠点とするのと同時に、発表会や卒園式等の行事を行っています。又、あゆみ共同保育園の隣部分（旧新聞集配所→駐車場）を陶芸教室、園内では、パソコン・ピアノ教室開催と後援会主催の事業も立ち上げております。

もうひとつ大きな出来事は、昨年5月、呉市から公立保育所民間譲渡募集の話が来て、児童デイサービス事業立ち上げで忙しい中、理事会で応募することを決断、6月に応募、8月にプレゼンをしました。残念ながら当選することはできませんでしたが、次点に食い込みました。法人格を持つということは、「あゆみ」が社会的にも認められ、様々な可能性を広げてくれるんだということに改めて実感しています。

残念なお知らせとして、長年、あゆみに関わり尽力され、「特定非営利活動法人あゆみ会」の設立に大きなお力添えをいただきました佐々木健前理事長がお仕事の都合で昨年11月をもちまして、理事長を退任されました。退任されても今後もあゆみに関わって頂けると信じております。後任として前理事長夫人の佐々木さつみ氏を新理事長にお迎えし、さらなる飛躍を目指していきます。佐々木さつみ氏は、これまでもOBとして、理事として多大なる尽力をされており、新理事長就任あいさつで、「今までと変わらず活動を継続・推進していきましょう。」と述べられました。

地道な努力の結果、児童デイサービス事業の拡充及び保育園児の増加等明るい兆しが表れ始めました。この流れを確実に推進するため、職員の増強を図りました。新しい正規職員を3名採用しております。新職員の方々それぞれに経験のある方ばかりです。前職の経験を大いに生かしながら、福祉・保育実践を通して、自己実現をしていただきたいと願っております。

「あゆみ」をとりまく社会情勢に目を向けると、国会では、子ども・子育て新システム関連3法案が国会で審議入りしています。「あゆみ」としては、直接契約や保育基準の低下には反対ですが、NPO法人になったことで、総合こども園の指定基準を満たすであろうと考えられ、矛盾を感じながら、この状況を見守っています。

児童デイサービス事業についても、自立支援法一部改正に伴う制度変更によって加算や計算方法等事務的な事柄も少しずつ変わって行きます。このような状況を注視しながら利用できるものは確実に、漏れの無い様に、行政に働きかける等していかなければなりません。

後援会は、NPO法人「あゆみ会」への金銭的支援は元より、「あゆみ会」の活動の幅を広げるための事業を行う等の役割を担っており、今後、ますます後援会活動が重要になっていくと考えられます。

今後とも皆様のご支援・ご援助・ご声援の程よろしく申し上げます。

2012年5月 後援会会長 鳥越 靖正



## 優しさにつつまれた『papa』ライブ



このメッセージは、障害があってもなくとも、子育てにとつて大切な内容だと思えます。子どもたちの将来のことを考えたら不安な状況がたくさんある社会ですが、どの子どもも強く生きていって欲しい、そのために私たちは何をしてあげたいんだろう、そんなことを考えさせてもらえる『papa』ライブでした。

奇藤さん、中野さん、ありがとうございました。

【奥田】

参加者から、「温かい愛情が詰まった歌詞、優しいメロディ、柔らかい声が感動的でした」という感想がたくさん聞かれました。

『papa』の曲は、我が子、家族への思いを歌にされていますが、子どもたちが愛されることの大切さ、子どもたちが一人で生きていく力をつけていくことの大事さ、子どもたちが成長していくための大人の役割など、さまざまなメッセージが込められていました。

このメッセージは、障害があってもなくとも、子育てにとつて大切な内容だと思えます。子どもたちの将来のことを考えたら不安な状況がたくさんある社会ですが、どの子どもも強く生きていって欲しい、そのために私たちは何をしてあげたいんだろう、そんなことを考えさせてもらえる『papa』ライブでした。

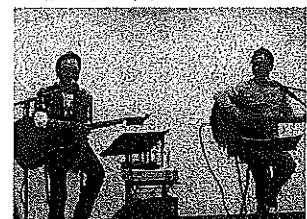
今年度は、あゆみ後援会総会とNPO法人あゆみ会総会との間（40分）で、『papa』のライブがありました。

『papa』（パパ）のメンバーは、奇藤元治さんと、中野剛さんです。

お二人は15年前、子どもさんに障害があり、広島市北部こども療育センターの通園施設に通われていました。療育センターでは、家族や職員が共に一泊して交流するお泊り会や、お父さんたちだけの会があり、飲みながら、親睦を深める機会が多々あるそうです。お二人はそこで出会われ、共通の趣味（歌とギター演奏）があったことから、「いままでのいろんな思いを歌にしてみようか？」と意気投合され、『papa』が誕生したそうです。

愛する子どもたちや妻への思い、仲間たちへの思いなどを歌に託して演奏されており、さまざまなお話からオファーがあるほど好評で、ラジオにも取り上げられ、新聞でも話題になりました。

このたび、お二人にあゆみ会での演奏をお願いしたところ、とても快く引き受けてくださり、トークを交えた素敵な歌声で会場を包んでくださいました。



お知らせ

### ★『第35回あゆみまつり』日程変更

11月11日（日）

先号にて6月17日とお知らせしましたが、今年度の『あゆみまつり』は11月に行います。みなさんよろしくおねがいします。

### ★2012年度会費納入をおねがいします

一口 1000円

郵便振込先

口座記号・番号

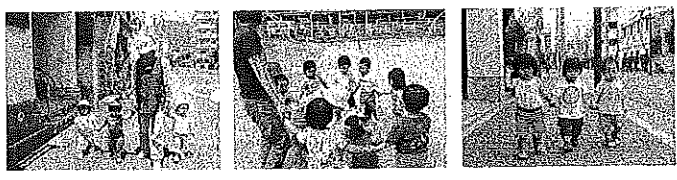
01300-9-65126

加入者名

あゆみ後援会

クラス紹介 うさぎぐみ 1号机クラス

ともだち大好き！うさぎぐみは、毎日登園してくる子どもは7人、一時保育で週1～2回登園する子どもが5人のクラスで、みんな活発な子ども達です。みんな外あそびが大好き。歩く力がついてきたので、春からいろんな公園に出かけています。本通り公園や古川公園へ行き遊具であそんだり、「むっくりクマさん」のわらべ歌あそびをしたり、消防署まで消防自動車を見に行ったり、辰川の急な坂道を登って海が見えて嬉しい気持ちになったり、いろいろな体験をしてきました。今「オオカミごっこ」が大好きで、保育士が「オオカミだぞー」と追いかけると「キャー」と歓声をあげて逃げる追いかっこを楽しんでいます。身体を使ってよくあそぶので食欲旺盛な子どもが多く、給食のおかわりもよくなります。奥の保育室から給食室までお皿を持ってヨチヨチ歩いて行ったり、「・・・ちよらだい」と自分で言えるようになってきました。「いやいや」もありますが、子どものやる気が出るまで励ましたりゆつたり待つようにして、気持ちを切り替えられるように促しています。子ども同士や保育士が仲立ちとなり、お互いの気持ちを言葉にして伝えるようにし、「ごめんね」が言えたり、友達のをナデナデする姿もみられるようになりました。友達が大好きなクラスです。



よろしくおねがいします—新職員紹介—

國本知世・くにもとともよ



はじめまして！この度、年中クラスぞうぐみの担任になりました國本知世です。あゆみに来て2ヶ月ですが、早くあゆみを知っていたかと思えるほど、毎日が楽しくてたまりません。山へ行き、たくさん険しい坂をたくましく登ったり下ったりする姿にびっくりしながらも、私も負けるものかと一緒に歩いています。奥中の公園、山、神社を日々めぐっていくことで、あゆみっこ達の足も体も心も強たくましくなるでしょうね☆そんな子ども達に寄り添いながらも一緒に成長していけるように！毎日子ども達と楽しいことをどんどん取り入れた笑顔いっぱいクラスを作っていきます。よろしくお願いします。

部谷岡真美・ひやおかまみ



はじめまして。「ほひさま児童デイサービス」で保育士として働くことになりました。子どもたちからは「まみ先生」と呼ばれています。今年の3月18日、卒園式で子どもたちを初めて見たときの感動と衝撃は今でも忘れません。リズムや竹馬を見て「こんなことができるんですねすごい。」と驚き、展示されている絵を見て「笑顔いっぱいなの素敵に絵だろ？」と新しい職場への不安は吹き飛び、子どもたちとの生活が楽しくなりました。おひさまで働き始めて、先生方の愛情と情熱の深さに感動し、子どもたちのパワフルさに驚き、キラキラした笑顔で癒しと元気をもらいながら学ぶことばかりの毎日を楽しんでいます。これから、みなさんと作り上げてこられたあゆみの伝統を引き継いでいけるよう、子どもたちの笑顔を求めて頑張ります。よろしくお願いします。

岡本良子・おかもとりょうこ



わが子三人があゆみでお世話になり、この度私が「おひさま児童デイサービス」で勤務させていただくことになりました。あゆみが就学前までの保育を始め、児童クラブを設立しそしてNPO法人化、児童デイサービス設立とあゆみの歴史の節々に関わらせていただけてきました。あゆみの理念、そして職員の方々の真摯に取り組む姿勢にいつも感化されていた私です。五十代半ばでの再出発ですが、毎日子どもたちの笑顔に接してとても楽しい毎日です。今まで成人の障害者施設で長年働いてきましたが、奥田先生や保育園の先生方に教えていただきながら子どもや保護者の気持ちに寄り添える支援者になれるよう一から勉強していこうと思います。どうぞよろしく願いいたします。

みなさん、ありがとうございました 横井幸恵

退任挨拶 4月、保育をすることに体調がつかず、退職を致しました。「23年間」ということですが、自分の中ではそんな感覚はなくその時その時を精一杯やってきました。かな、という感じですが、まだ園舎は驚くほど古くてポロポロだったけど、先生たち・保護者の皆さんの子どもに対する思いは熱く、キラキラ輝くものがありました。世間知らずの私にとっては、何もかもが興味深い事でしたし、日々、子どもと過ごすとき「保育って楽しい！」と感じていくようになりました。いろいろな研修会や学習会に参加させてもらって、保育だけではない生き方や考え方、沢山のことを学ばせていただき、いろいろな文化にも触れ、世界を広げることができました。そしてその中で、沢山の人のつながり、より保育を楽しむのことにしたいことができたと思っています。あゆみにいたからこそ出来た経験でありたいことです。どんな時も、「よこりん！」「せんせい！」と言ってくれた子どもたちがいたから頑張れた、しんどいときは先生たちに支えられ頑張れた、支えてくれたお母さん・お父さんがいたから頑張れた、みなさんが、ずっと支えられてくれたから頑張れたと思えます。これまで関わったすべての皆さんに、感謝の気持ちで一杯です。本当にありがとうございます。あゆみを支えた一人として、どうぞよろしく願いいたします。

「あゆみと共に」 ちようど12年前の梅雨の頃、初めてあゆみに行きました。自宅が黒瀬なので、認可保育園への入園が無理だと知り、「(ガーン) タウンページを開いて保育園の欄の一番目が『あゆみ共同保育園』。とにかくさつそく電話してみようと「いつでも見学どうぞ」と言われひと安心！雨の止んだ間に、みゆと一緒に歩いてみる中、中ではパワフル全開の子もみゆと「わー！赤ちゃん。見せて。かわいー」とすぐみゆに寄り添って来てくれました。 「へー！、子どもって赤ちゃん見るってこんな感じなんだ。」今まで子どもとあまり接したことがなかったのが新発見。中本先生と佐藤先生の面接で「黒瀬！遠いわねえ、大丈夫！」と聞かれ、あまり何も考えてなかったことに、職場復帰をためらうほどでした。しかし、預かってもらえる園があったのだから、あとは自分たちで何とかやっつけていこう！と思い、平成12年10月から我が家の『あゆみライブ』がスタートしました。 みゆは今では想像しがたいのですが(現在中一、青春真っ只中)母ベッタリな子で、朝は泣き続けていたそうです。夕方、ちようどベビーカーに乗り友達と3人で散歩をしているみゆを見たとき、涙が出てきました。おやつのパンをはなさずにぎゅぎゅと涙が出てきました。でも、仕事を辞めようと思いついた事は無かったです。毎日の連絡帳、つうしん・送迎の時に先生方・保護者の方々からかけていただく言葉に元気づけられます。ここにいたいと思えました。生きていく力、友達への思いやりをいろいろな体験を通して感じ、豊かに育っていることを確信していたからでしょう。先生が靴を自分で履いている子に「わあー素敵」と声をかけるとキラッとした表情になり、やりきった時は、今でいう『ドヤ顔』。子どももやる気を起こす言葉に出会えました。本当に素敵な言葉です。 2人目のゆうかはみゆ卒園後すぐ入園だったので、親も不安もなく待ちに待った入園でした。ゆうかの担任は、中本先生とあつこ先生の入替わり(！)、心も体もたくましく育てていただきました。(笑) ゆうかの一年はあゆみとの別れが近づくこともあり、行事が終わる毎に寂しい気持ちになりました。でも、これと逆に保護者とのつながりは深くなりました。みゆの同級生、ゆうかの同級生の保護者の方々は、今でも一緒に食事(！だけ)をさせてもらっています。こうしてみなさんに出会えたのも、今もおつながりいただいているのもあゆみのおかげです。親と子と共に成長させていただきありがとうございます。これからも応援していま